



あすもりサポーター通信

これからの交流の広がり期待！

「第3回北海道の森づくり交流会」全道各地区からの報告

1/27（日）に開催された「第3回北海道の森づくり交流会」はTV会議システムを使って、全道7か所の会場で開催しました。第1部では札幌会場からの講演や助成贈呈式、旭川地区からの交流報告を全道各地区一斉に視聴し、第2部では地区独自で交流を行いました。各地区から届いた報告をご紹介します。



子どもたちも、ヘルメットをかぶって間伐を体験した旭川地区。「NPO法人もりねっと北海道」さんの専門的な説明に説得力を感じました。

旭川地区

交流会の第1部で、旭川地区での市民団体との交流を報告しました。「森づくり」＝「人づくり」・・・「NPO法人もりねっと北海道」さんとの交流では子どもも一緒に森に入り、間伐体験や観察などを行いました。また、「北海道グッド・トイ委員会」さんに木のおもちゃを提供してもらって開催している、子育てひろばの「木育おもちゃの日」について報告しました。第2部の地区独自の交流会では、参加者から「地域からの発信は興味深いね」「団体さんとの地区交流はこうすればいいだね。」「木のぬくもりを感じる報告だった」などの意見が寄せられました。

北見地区

オホーツク方面は天候が悪く、網走会場はおやすみとなり、北見会場でも欠席された方が多く残念でした。北見会場ではまず「市民が参加できる魅力的な企画立案」と題して、北見地区の1年間の活動を紹介して、市民団体など参加者のみなさんと情報を共有しました。その後、次年度に向けた話し合いが活発に行われ、中身の濃い交流ができました。「参加者から企画者になると、よりいっそう森への関心も高まる」といった感想も寄せられ、札幌会場と通ずるものを感じました。



北見地区独自の交流会では、次年度企画に向けて、地区委員と参加者が「一緒に何ができるか」について、活発に意見を交わしました。

そのほか、【釧路地区】【帯広地区】【苫小牧地区】【函館地区】の報告をみても、体験を通じて森の機能の大切さに気づいたり、森づくりを始めたものの、もとの森に戻していくには100年をかけなければ・・・など、各地区で表現は違いますが、共通する感想が多かったのが今年の特徴でした。【釧路地区】では豊かな自然や森だけではなく、「湿原」の保全など地域の独自性を大切に考えていこうという動きも感じられました。この交流会が次年度にむけての相互理解や交流に発展して欲しいと思います。



全道各地で植育樹がはじまります。

全道で植樹をしよう！と、あすもり基金がスタートしてから5年目。「コープの森」と名づけられた植樹地は2008年の当別町にはじまり、美幌町、知内町、豊浦町、むかわ町、上士幌町、白糠町、東川町、栗山町、喜茂別町、真狩町と11ヶ所に増えました。植樹した苗木は、人の助けがなくても大丈夫といえるほどの大きさになるまで、下草刈りなどの手入れをしながら、育てていきます。お近くの植樹活動へご参加ください。実施内容など詳しくは、各地区へお問合せください。

2013年度 春の植樹日程



道央/道南

- 5月18日(土) 南空知地区(栗山町)
- 5月19日(日) 函館地区(知内町)
- 5月25日(土) 苫小牧地区(むかわ町)
- 5月25日(土) 小樽地区(真狩町)
- 6月1日(土) 室蘭地区(豊浦町)
- 6月1日(土) 道民の森「植樹祭」(当別町)
- 6月8日(土) 札幌西地区(喜茂別町)



道北/道東

- 5月19日(日) 釧路地区(白糠町)
- 6月1日(土) 旭川地区(東川町)
- 6月15日(土) 北見地区(美幌町)
- 6月16日(日) 帯広地区(上士幌町)



当別道民の森での「植樹祭」の応募方法などは、本通信の裏面をご覧ください。

コープの森に、木を植えに行こう!

当別町にある道民の森「コープの森」は、2008年に、コープさっぽろが最初に植樹をした場所です。かつては牧草地だったエリアを本来の森林に戻すために、春に木を植え、夏や秋に育て続けて5年目を迎えます。春の息吹満開の大自然の中へ、未来の森づくりのために植樹に行きましょう!ご家族で、お子さんと一緒に、どうぞお申込みください。 ※当日の詳しいスケジュール・内容は、後日お知らせします。



とき 2013年 6月1日(土)
ところ 道民の森「コープの森」(当別町神居尻地区)

- 集合時間・場所 8:40 JR札幌駅北口 鐘の広場 (出発時間:9:00)
- 定員 200名 ※応募多数の場合は抽選となります。
- 参加費 500円(3歳未満無料) ※昼食付 **持ち物** 飲み物、軍手、雨具
- 応募方法 「植樹参加希望」と明記の上、参加者全員の ①氏名 ②年齢・性別 ③郵便番号・住所 ④電話番号を記入し、ハガキまたはFAXかEメールで下記へお送りください。
- 応募先 コープさっぽろ基金事務局「植樹祭」係 まで
ハガキ:〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 FAX:011-671-5743
Eメール:csap.k.asumori@todock.jp
- 応募締め切り 5月11日(土)当日消印有効 5月17日(金)頃、参加整理券を発送します。



◆お問い合わせ コープさっぽろ基金事務局:011-671-5651(担当 稲垣・井上) ※土日を除くAM10:00~PM5:00

あすもり基金 助成団体紹介 (2012・2013年度小額助成)

NPO法人トラストサルン釧路

活動拠点 / 釧路市

1988年に釧路湿原を守ろうと設立したナショナルトラスト団体です。湿原は国立公園内にあり、国際的にも重要な水鳥の生息地として、ラムサール条約の登録湿地に指定されていますが、法的な保護指定を受けず、開発の危機がせまるエリアもたくさんあります。

そこで市民の寄付金で土地を購入したり、地主と保護協定を結ぶなどして23カ所、約425haを「自然保護地」として保全管理しています。1992年からは湿原の水源地となっている丘陵地帯で「湿原を守る森づくり」に取り組んでいます。森づくりは伐採跡地を優先し、地元産の広葉樹の種子を使い、自然の再生力を促すことを基本に進めています。

春になると会員が育てた幼苗を苗畑に移植し、5~6月の週末を「ボランティア植林月間」と名づけて、植育樹を行います。最近では地域住民のほか、企業やスポーツ選手、道外の地元出身者の参加も増えてきました。夏には草刈りや根切りなどの手入れ、観察会、秋には種子拾いと苗づくりを行う「どんぐり記念日」を開催しています。

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/trustsarun/>



「コープの森 育樹会」のお知らせ

日時:5月19日(日)

会場:道民の森「コープの森」(当別町神居尻地区)

「コープの森」で苗木たちの育樹作業を行います。北海道の森づくりでは、雪の重みなどで傷んだ苗木の手入れが欠かせません。折れかけた枝に使用済み割りばしの添え木をあてて紙テープで固定し、樹々の成長を助けます。昨年秋の育樹会では、雪がとけた後に苗木が自力で立ち上がることをねらって、グラスファイバーポール製の添え木を使ってみました。例年以上に大雪だった今冬、ようやく訪れた春の森へ、苗木に会いに出かけましょう。申込方法など詳細は、同封のチラシをご覧ください。

あすもりのドングリマークを真ん中に入れたQRコードが出来ました。

携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、あすもりのFacebookページを開くことができます。

<https://www.facebook.com/coop.asumori>



森の本

毎号1冊、森づくりに関するおすすめの本を紹介します。

14ひきのシリーズ

著者:いわむらかずお

「14ひきのひっこし」など全12冊

発行元:株式会社 童心社



『ひっこし』からはじまる14匹のねずみの森での暮らし。他のいきもののかかわり、野の草花、きのこ、音、香り、風、夜、季節など、自然の感覚を思い出させてくれる絵本です。擬人化されたねずみたちにも、大家族の温もりを感じます。絵本の原風景は著者が住む栃木県益子町の雑木林です。

エッセイ集『14ひきのアトリエから』には制作秘話や生き物たちのようすが綴られています。「14ひきのシリーズ」特集HPで、作者のメッセージを読むことができます。

<http://www.doshinsha.co.jp/longsaler/14hiki/>



コープさっぽろ **-co.op-**
one for all, all for one.

コープ未来の森づくり基金事務局

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10番1号

TEL 011-671-5651 FAX 011-671-5743

製作:コープ未来の森づくり基金 編集:あすもりサポーター 井上久子